

- 問1 日本の太平洋側に位置する東京などの地域では、季節によって降水量の変化が明確に現れます。このような地域における、年間の降水量の傾向について説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2024年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 冬の時期に大陸からの湿った季節風の影響を強く受け、12月から1月の降水量が最も多くなる。 | 2. 1年を通して気温が高いため、季節に関係なく毎日午後に激しい雨が降る。 | 3. 年間を通じて降水量が平均しており、月ごとの変化がほとんど見られない。 | 4. 梅雨や台風の影響を受ける6月や9月ごろに、降水量のピークが見られる。 |
|---|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 扇状地と三角州を比較した説明として、正しいものはどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 扇状地は海岸沿いの波の作用によって形成され、三角州は火山活動による溶岩の堆積によって形成される。 | 2. 扇状地は地形が非常に平坦なため水田に利用され、三角州は傾斜があるため果樹園に利用される。 | 3. 扇状地は川が山から平地に出た場所に形成され、三角州は川が海や湖に流れ込む河口に形成される。 | 4. 扇状地は泥や粘土などの細かい粒子が堆積し、三角州は大きな岩や礫が堆積して形成される。 |
|---|---|--|---|
- 問3 瀬戸内地域では、年間降水量が1400ミリ未満という乾燥した気候が見られます。このように降水量が少なく、晴天の日が多い気候が形成される背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 年間を通じて上昇気流が発生しにくい高気圧の通り道となっており、梅雨や台風の影響を全く受けないため。 | 2. 夏は四国山地、冬は中国山地によって湿った季節風が遮られ、水分を失った空気が流れ込むため。 | 3. 四国山地によって北風が遮られることで、冬の時期に日本海側からの湿った空気が大量の雪を降らせるため。 | 4. 中国山地と四国山地の間に位置しているため、海からの水蒸気が入り込まず、常に乾燥した偏西風の影響を受けるため。 |
|--|---|--|---|
- 問4 都市部において、周辺の郊外に比べて気温が著しく高くなる「ヒートアイランド現象」が発生する主な原因として、地表がアスファルトやコンクリートで覆われていること以外に、どのようなことが挙げられますか。その要因を説明したものととして最も適切なものを選びなさい。（2022年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 都市中心部から郊外へ人口が移動することによって生じるドーナツ化現象の進行 | 2. 高層ビルが密集して建ち並ぶことで、上空の偏西風が遮断されること | 3. エアコンの室外機や自動車の走行などによって放出される人工排熱の増加 | 4. 海沿いの工場から排出される二酸化炭素による温室効果の増大 |
|---|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
- 問5 都市部などの交通量が多い地域において、鉄道と道路の交差部分を踏切ではなく「立体交差」にする主な目的として、最も適切なものはどれか。（2024年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため | 2. 列車の運行速度を落とすことで、周辺住民への騒音を軽減するため | 3. 地形図上での表記を簡略化し、地図の視認性を向上させるため | 4. 線路の敷設面積を最小限に抑え、土地の有効活用を図るため |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
- 問6 冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際、水蒸気を多く含んで日本列島の山脈にぶつかることにより、日本海側の地域で発生する現象として正しいものはどれですか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 1. 水蒸気が雲にならず、日本海側に乾燥した晴天をもたらす | 2. 山脈にさえぎられて上昇し、大量の雪を降らせる | 3. 乾燥した空気として山脈にぶつかり、フェーン現象を起こす | 4. 山脈を越えたあとに水分を含み、太平洋側に雪を降らせる |
|-------------------------------|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
- 問7 扇状地において、標高の高い扇頂・扇央部で果樹園が多く開かれ、標高の低い扇端部で水田が多く開かれる地形的・自然環境的な理由の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 扇頂・扇央部は標高が低いため果樹園に適し、扇端部は標高が高く冷涼な気候であるため水田に適している。 | 2. 扇頂・扇央部は湧水が豊かで洪水が多いため果樹園に適し、扇端部は水が得にくく乾燥しやすいため水田に適している。 | 3. 扇頂・扇央部は砂利が多く浸透性が高いため果樹園に適し、扇端部は地下水が湧き出て水が得やすいため水田に適している。 | 4. 扇頂・扇央部は粘土質の土壌で保水性が高いため果樹園に適し、扇端部は水はけが非常に良いため水田に適している。 |
|--|---|---|--|
- 問8 日本の諸地域の雨温図を比較した際、年平均気温が15度前後であり、かつ年間降水量が1100mm程度と他の地域に比べて極端に少ない数値を示す地域に該当する気候区分を選びなさい。（2024年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 日本海側の気候 | 2. 南四国の気候 | 3. 太平洋側の気候 | 4. 瀬戸内の気候 |
|------------|-----------|------------|-----------|
- 問9 地形図において、小さな円の上に短い縦棒を組み合わせた地図記号で表される、リンゴやミカンなどの果実を栽培する場所を何とといいますか。（2020年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 1. 畑 | 2. 果樹園 | 3. 茶畑 | 4. 桑畑 |
|------|--------|-------|-------|
- 問10 日本の気候区分において、冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、奥羽山脈などの山脈にぶつかることで、日本海側に雪や雨の降水量が多くなる仕組みを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 赤道付近からの暖かくて湿った季節風が、冬に勢力を強めて日本海を北上し、山脈に遮られることで積雪をもたらす。 | 2. 太平洋からの湿った空気が日本海に流れ込み、山脈を越える際に急激に冷却されることで大量の雪を降らせる。 | 3. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。 | 4. オホーツク海からの冷たく湿った北東の風が、直接日本海側の地域に吹き込み、冬の間中、曇りや雨の日を多くする。 |
|--|---|---|--|
- 問11 日本列島の周辺を流れる海流のうち、東北地方の沖合で千島海流（親潮）とぶつかって「潮目（潮境）」を形成し、豊かな漁場を作る要因となっている暖流はどれですか。（2025年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|----------|-----------|---------|
| 1. 日本海流（黒潮） | 2. リマン海流 | 3. 北大西洋海流 | 4. 対馬海流 |
|-------------|----------|-----------|---------|
- 問12 地形図上の特定の二地点間を直線で結び、その線に沿った標高の変化をグラフのように横から見た図として表現したものを何というか、名称を答えなさい。（2015年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 断面図 | 2. 柱状図 | 3. 鳥瞰図 | 4. 等高線 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問13 三重県の志摩半島付近では非常に複雑に入り組んだ海岸線が見られます。このような地形を利用して盛んに行われている産業とその理由について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2020年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な砂浜が広がり遠浅な海域となっているため、大規模な塩田による製塩業が発達している。 | 2. 海岸線が直線的で大型船の接岸が容易であるため、石油化学コンビナートなどの重化学工業が集中している。 | 3. 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく穏やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。 | 4. 遠浅の入り江を大規模に埋め立てた人工的な土地を利用して、施設園芸農業による野菜の促成栽培が行われている。 |
|--|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 梅雨や台風の影響を受ける6月や9月ごろに、降水量のピークが見られる。	日本の太平洋側の気候は、夏は太平洋高気圧の影響で高温多湿となり、初夏の梅雨前線や秋の台風によって降水量が増加する時期が2回あります。一方、冬は大陸から吹く乾いた北西の季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、晴天が多く乾燥した日が続き、降水量は少なくなります。
問2	答え 3 扇状地は川が山から平地に出た場所に形成され、三角州は川が海や湖に流れ込む河口に形成される。	どちらも河川の堆積作用によって作られる地形ですが、形成場所が異なります。扇状地は山地から平地への「出口」に作られ、粒子が大きく傾斜があります。一方、三角州は流れが完全に止まる「河口」に作られ、粒子が非常に細かく、非常に平坦な地形となるのが特徴です。
問3	答え 2 夏は四国山地、冬は中国山地によって湿った季節風が遮られ、水分を失った空気が流れ込むため。	瀬戸内地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれています。夏は太平洋側から吹く南東の季節風が四国山地に、冬は日本海側から吹く北西の季節風が中国山地にそれぞれぶつかり、山の外側に雨や雪を降らせます。山を越えて瀬戸内側に吹き込む風は、水蒸気を失って乾燥しているため、この地域では年間を通して降水量が少なくなります。
問4	答え 3 エアコンの室外機や自動車の走行などによって放出される人工排熱の増加	都市部では、地面が太陽の熱を蓄えやすいアスファルトやコンクリートで覆われていることに加え、エアコンの使用や自動車の運転といった人間の活動に伴って放出される「人工排熱」が滞留することで、周辺地域よりも気温が高くなります。これを島状に熱がこもる様子からヒートアイランド現象と呼びます。選択肢にあるドーナツ化現象は、都市の人口移動に関する用語であり、気温上昇の直接的な原因ではありません。
問5	答え 1 交通渋滞を解消し、踏切事故を防止して安全性を高めるため	踏切は列車の通過待ちによる交通渋滞の原因となりがちで、特に都市部では「開かずの踏切」が大きな社会問題となります。道路と鉄道を立体交差化（道路が上、または鉄道が上）することで、車両や歩行者の流れを止めずにスムーズな通行が可能になり、同時に踏切内での事故リスクを無くすことができます。これにより、地域の利便性と安全性が大きく向上します。
問6	答え 2 山脈にさえぎられて上昇し、大量の雪を降らせる	シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風は、日本海を渡る際に暖流から供給される水蒸気を蓄えます。この湿った空気が日本列島の中央を走る山脈にぶつかって上昇することで、冷却されることで雪を降らせるため、日本海側は世界有数の豪雪地帯となります。
問7	答え 3 扇頂・扇央部は砂利が多く浸透性が高いため果樹園に適し、扇端部は地下水が湧き出て水が得やすいため水田に適している。	扇状地の土地利用の背景にある原理を問う問題です。山地から流れ出た川が形成する扇頂・扇央部では、大きな砂利などが堆積して水が伏流しやすく水はけが良い環境になるため果樹園に利用されます。伏流した水が湧き出る扇端部では、豊富な水資源を利用できるため水田が開かれます。
問8	答え 4 瀬戸内の気候	日本の平均的な年間降水量は約1700mm程度ですが、瀬戸内の気候は山地に挟まれた地形的要因から雨が非常に少なく、1000mm～1200mm程度にとどまることが特徴です。これに対し、南四国や太平洋側は夏の降水量が極めて多く、日本海側は冬に降水量（雪）が多くなるため、年間降水量は瀬戸内よりも格段に多くなります。
問9	答え 2 果樹園	小さな丸に短い縦線が付いた記号は、樹木の形を象徴しており、地形図上で果実を栽培する土地であることを示します。選択肢にある他の記号と区別する場合、黒い点が3つ集まったものは茶畑、V字のような形は畑、小さな丸が3つ集まったものは桑畑を指します。
問10	答え 3 ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。	冬になるとユーラシア大陸から冷たく乾いた北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を通過する際、対馬海流などの影響で蒸発した水分を大量に含み、湿った空気へと変化します。この空気が奥羽山脈などの高い山々にぶつかって上昇することで、雲が発達し、日本海側に世界でも有数の豪雪をもたらします。一方、山を越えた後の風は乾燥し、太平洋側では晴天の日が多くなります。
問11	答え 1 日本海流（黒潮）	東北地方の三陸沖では、南からの暖流である黒潮（日本海流）と、北からの寒流である親潮（千島海流）がぶつかり合います。ここにはプランクトンが豊富に集まるため、世界的な好漁場となっています。
問12	答え 1 断面図	地形図だけでは読み取りにくい土地の起伏を、垂直方向の高さの変化（標高）として視覚的に示したものを断面図と呼びます。これを用いることで、平坦な土地なのか、あるいは河川や丘陵地といった起伏があるのかを一目で把握することが可能になります。
問13	答え 3 入り江の中は外海からの波の影響を受けにくく稲やかであるため、真珠やカキなどの養殖業が盛んである。	リアス海岸は、深く入り組んだ湾が連続するため、外海の荒い波が遮断されるという特徴があります。この「波が静か（穏やか）である」という利点を活かして、志摩半島では真珠の養殖、三陸海岸ではカキやワカメの養殖などが盛んに行われています。一方、平地が少ないため大規模な工業地帯や農業用地の確保には向きません。

- 問1 自然災害に対する備えとして自治体などで作成されている「ハザードマップ」について、その主な目的として最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. 土地利用の変化を示し、地域の人口や産業の変化を促すため | 2. 住民に地域の自然災害の危険区域や避難場所等を認識させ、災害時に安全に行動できるようにするため | 3. 日ごろの交通量を調べ、今後の道路整備の計画を立てるため | 4. 観光客に向けて地域の自然環境や歴史的建造物の位置を紹介するため |
|--------------------------------|---|--------------------------------|------------------------------------|
- 問2 新潟県から静岡県付近を縦に貫き、日本列島を地質的に東日本と西日本に分ける巨大な溝状の地形において、その西側の境界線となっている断層帯の名称を答えなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------|----------|------------|
| 1. 糸魚川静岡構造線 | 2. 棚倉構造線 | 3. 中央構造線 | 4. 柏崎千葉構造線 |
|-------------|----------|----------|------------|
- 問3 火山灰が人々の健康や生活基盤に及ぼす影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 水に溶けやすい性質を持っているため、雨が降ればすぐに無害な液体となり、下水道などの排水設備に影響を与えることはない。 | 2. 非常に細かく鋭い角を持つ粒子であるため、吸い込むことで呼吸器系に障害を起こしたり、目に入って痛みや炎症を引き起こしたりすることがある。 | 3. 火山灰が農地に降り積もると、即座に土壌の養分が豊富になり、その年の収穫量が劇的に増加する。 | 4. 粒子の表面が滑らかで柔らかいため、道路に積もった場合でも自動車のタイヤがスリップすることはない。 |
|---|--|--|---|
- 問4 ある日本の都市の気象統計において、年平均気温が約18℃、年降水量が約1250mmであり、7月から8月にかけて気温が最も高く、6月と9月から10月にかけて降水量の山が二つある場合、この都市の冬（12月～2月）の気候の仕組みとして適切なものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 1. 暖流である日本海海流の上を通る湿った季節風により、大量の雪が降る。 | 2. 赤道付近で発生する熱帯低気圧が頻繁に通過するため、夏よりも降水量が多くなる。 | 3. 北西からの季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、乾燥した晴天の日が多くなる。 | 4. 北東から吹く冷たく湿った気流（やませ）の影響で、気温が上がらず雨が降りやすくなる。 |
|--------------------------------------|---|--|--|
- 問5 内陸の盆地に位置する松本市の気候は、海岸に近い仙台市や岡山市とは異なる特色を持っています。松本市のような内陸の気候に見られる気温と降水量の推移の特徴として、最も正しいものを選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|-------------------------------------|---|
| 1. 海から離れているため気温の日較差や年較差が大きく、年降水量は比較的小さい | 2. 湿った季節風が常に吹き込むため、年間を通じて100mm以上の降水が毎月ある | 3. 対馬海流の影響を直接受けるため、冬の降水量（降雪量）が非常に多い | 4. 一年を通じて偏西風の影響を強く受けるため、季節による気温の変化がほとんどない |
|---|--|-------------------------------------|---|
- 問6 1872年の浜田地震など、過去の被災状況が刻まれた石碑を地図上に記載し、広く周知する仕組みを整える目的として、最も適切な説明はどれか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 土地の境界線を明確にすることで、地震による地割れ被害後の復旧作業を円滑にするため | 2. 石碑の歴史的な文化的価値を宣伝し、周辺地域の観光客を増加させるため。 | 3. 過去の具体的な被災状況を住民に伝え、将来の災害に対する防災意識を向上させるため。 | 4. 石碑がある場所を公共の避難場所として指定し、居住を禁止するため。 |
|---|---------------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問7 奥行きのある湾と小さな岬が交互に連続する複雑な海岸線を持つ地域では、古くからその地形を利用した人々の暮らしが見られます。このような海岸地形の成立過程とその利用について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 山地が沈水することで複雑な入江が形成されており、波の影響が少ないため、カキやワカメなどの養殖が盛んである。 | 2. 沿岸流によって運ばれた砂が湾の入り口を塞ぐように堆積しており、景勝地として観光資源に活用されている。 | 3. 川から運ばれた土砂が河口に堆積して平地が形成されており、水はけの良さを活かした都市開発が進んでいる。 | 4. 波の侵食によって平坦な段差が作られており、津波の被害を避けるための集落や畑として利用されている。 |
|--|---|---|---|
- 問8 神戸市のポートアイランドなどのように、海を埋め立てて造られた人工島や沿岸部において、大規模な地震が発生した際に特に警戒すべき現象があります。水分を多く含んだ砂の地盤が、地震の振動によって液体のように変化し、地面から水や砂が噴き出したり、建物が傾いたりする現象の名称として正しいものを選択してください。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------------|---------|-------------|
| 1. 液化化現象 | 2. ヒートアイランド現象 | 3. 土砂崩れ | 4. 大規模な火山噴火 |
|----------|---------------|---------|-------------|
- 問9 平安時代末期、奥州藤原氏が東北地方の岩手県を拠点として築いた世界文化遺産について、当時の仏教思想を背景に建立された代表的な建造物を含む名称はどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|-----------|-------------|
| 1. 平泉の中尊寺金色堂 | 2. 鳥根の石見銀山遺跡 | 3. 日光の東照宮 | 4. 広島 の厳島神社 |
|--------------|--------------|-----------|-------------|
- 問10 野岳湖（ダム湖）から引かれた灌漑用の用水路が標高250m付近を通っている地域において、その周辺の土地利用の傾向を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、この地域では用水路の経路を境に、土地の使われ方が明確に分かれているものとします。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 用水路より標高が高い場所は日当たりが良いため主に水田として利用され、低い場所は水はけが良すぎるため畑として利用される。 | 2. 灌漑技術の向上により標高に関わらず全域で水が確保できるため、水路の上下を問わず広大な水田が広がっている。 | 3. 用水路より標高が低い場所は水を引きやすいため主に水田として利用され、高い場所は畑や果樹園として利用される。 | 4. 標高が高い場所は霧が発生しやすく湿潤なため水田として利用され、低い場所は乾燥しやすいため畑として利用される。 |
|--|---|--|---|
- 問11 河川が山間部から平地へと流れ出る地点では、流れの速度が急激に落ちることで、運ばれてきた土砂が堆積して扇のような形をした地形が形成されます。この地形を何といいますか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 干拓地 | 2. 三角州 | 3. 扇状地 | 4. 台地 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問12 大分市を流れる大野川などの河口付近には、鶴崎や中島といった複数の島を含む低地が広がっています。このような地形の成り立ちについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---|--|---|
| 1. 山地から平地へ出る谷口付近で、土砂が扇状に堆積して形成された。 | 2. かつての河川の氾濫原などが、土地の隆起や海面の低下によって一段高い平坦面となって形成された。 | 3. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、流れが枝分かれすることによって形成された。 | 4. 波や沿岸流によって運ばれた砂が、海岸線と並行に細長く堆積して形成された。 |
|------------------------------------|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 住民に地域の自然災害の危険区域や避難場所等を認識させ、災害時に安全に行動できるようにするため	ハザードマップは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲や避難場所・避難経路などを地図上に示したものです。住民が日頃から危険区域を認識し、災害時に安全に行動できるように作成されています。
問2	答え 1 糸魚川静岡構造線	フォッサマグナの西端を画する大断層線です。この線を境に東側と西側では地層の年代や性質が大きく異なっており、日本列島の形成過程を示す重要な地形的特徴として知られています。
問3	答え 2 非常に細かく鋭い角を持つ粒子であるため、吸い込むことで呼吸器系に障害を起こしたり、目に入って痛みや炎症を引き起こしたりすることがある。	火山灰はマグマが急冷されてできた微細なガラス片や鉱物の集まりであり、硬く鋭利な形状をしています。そのため、人間の肺や気管に入ると健康被害をもたらす、目に入ると角膜を傷つける恐れがあります。また、農作物の葉に付着して光合成を妨げたり、重みでビニールハウスを倒壊させたりするなど、農業への被害も深刻です。
問4	答え 3 北西からの季節風が山脈を越えて吹き下ろすため、乾燥した晴天の日が多くなる。	示された統計は、夏に気温と降水量のピークがあり、冬に降水量が落ち込む太平洋側の気候（東京など）の特徴を示しています。冬はシベリア高気圧から吹き出す冷たく乾いた北西の季節風が、日本海側で水分を雪として落とした後、奥羽山脈や飛騨山脈などを越えて太平洋側に吹き下ろします。このため、太平洋側の地域では冬に乾燥した晴天が続くというメカニズムが生じます。
問5	答え 1 海から離れているため気温の日較差や年較差が大きく、年降水量は比較的少ない	内陸の盆地は海から遠く、水温に比べて変化しやすい地表の影響を強く受けるため、夏と冬の気温差（年較差）や一日の最高・最低気温の差（日較差）が大きくなります。また、周囲を山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、海岸部に比べて年間降水量が少なくなるのが典型的な内陸性気候の特徴です。
問6	答え 3 過去の具体的な被災状況を住民に伝え、将来の災害に対する防災意識を向上させるため。	石碑には家屋の倒壊や火災、死傷者の数といった当時の被災状況が詳細に刻まれている。これらを地図上で確認できるようにすることで、その土地が持つ災害リスクを住民に認識させ、ハザードマップの確認や備蓄の強化といった具体的な防災行動を促す背景がある。
問7	答え 1 山地が沈水することで複雑な入江が形成されており、波の影響が少ないため、カキやワカメなどの養殖が盛んである。	リアス海岸は、もともと陸地であった場所の谷の部分に水が入り込む「沈水」によって作られます。ギザギザとした複雑な海岸線は総延長が非常に長くなり、波を遮る地形が多いため、内湾では水面が安定します。この穏やかな水面と、急深な海底という条件が組み合わさることで、三陸海岸ではワカメやカキ、志摩半島では真珠といった養殖業が地域の主要な産業となっています。一方、海岸段丘は土地の隆起や海面の低下によって形成されるため、成立過程が異なります。
問8	答え 1 液状化現象	埋め立て地は、もともと海だった場所に土砂を投入して造られているため、地盤が未成熟で水分を多く含んでいます。地震の強い揺れが加わると、砂の粒子がバラバラになって地下水に浮いたような状態になるため、地盤の強度が失われます。これが液状化現象であり、人工島などの埋め立て地において特有の災害リスクとして知られています。
問9	答え 1 平泉の中尊寺金色堂	奥州藤原氏の三代（清衡・基衡・秀衡）は、前九年の役や後三年の役といった戦乱の犠牲者を平等に弔い、仏教の浄土思想に基づいた平和な理想郷を築こうとしました。その象徴として、建物全体を金箔で覆った中尊寺金色堂が建立されました。これは当時の東北地方における豊かな金産出量と、高度な工芸技術を現代に伝える貴重な文化遺産となっています。
問10	答え 3 用水路より標高が低い場所は水を引きやすいため主に水田として利用され、高い場所は畑や果樹園として利用される。	灌漑用の用水路を利用する場合、水は高いところから低いところへ流れるという自然の原理を利用するのが最も効率的です。そのため、用水路よりも標高が低い地域は容易に引水ができるため、大量の水を必要とする水田として利用されます。一方で、用水路よりも高い場所へ水を揚げるにはポンプなどの動力が必要でコストがかかるため、比較的少ない水で栽培可能な畑や果樹園として利用されるのが一般的です。
問11	答え 3 扇状地	山地を流れる急流が平地に出ると、流速が弱まり、運搬してきた土砂をそれ以上運べなくなって堆積させます。これが谷口を中心として放射状に広がることで、特徴的な扇状の地形が作られます。長崎県大村市の郡川周辺など、日本の多くの河川で見られる代表的な地形です。
問12	答え 3 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、流れが枝分かれすることで形成された。	問題文にある「河口付近に形成された複数の島を含む低地の広がり」は、三角州（デルタ）の典型的な特徴を示しています。河川によって運ばれた細かな砂や泥が、流れの遅くなる河口に堆積し、水路を妨げることで川が分流し、複数の島のような地形が作られます。これに対し、扇状地は山地から平地に出る「谷口」に形成されるもので、堆積する場所や土砂の粒の大きさが異なります。

問1 1950年代には山林や田畑が広がり、地形図上で等高線が密集していた丘陵地が、その後の大規模な土地の改変によって、平坦な土地に格子状の道路や多くの建物が並ぶ市街地へと変化しました。このような大規模な造成が行われた主な社会的背景として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 高度経済成長期における都市部への急激な人口集中と住宅不足 | 2. バブル経済期における、観光客の誘致を目的としたリゾート施設の建設 | 3. 第一次石油危機（オイルショック）を受けた省エネルギー型都市への移行 | 4. 食料自給率を向上させるための、山地を対象とした大規模な開拓事業 |
|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|

問2 瀬戸内の気候は、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多いという特徴があります。このような気候が形成されるメカニズムについて、地形と季節風の関係から説明したものととして最も適切なものはどれですか。

(2018年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 太平洋側の暖流の影響で、年間を通じて安定した高気圧が瀬戸内海の上空に停滞し、雲の発生を抑えているため。 | 2. 夏と冬の季節風が運ぶ湿った空気が、それぞれ四国山地と中国山地によって遮られ、乾燥した空気が流れ込むため。 | 3. 季節風が山地を越える際に温度が下がり、瀬戸内海周辺では冷たく乾いた風が吹き続けることで蒸発が抑えられるため。 | 4. 日本海からの湿った季節風が中国山地を越える際に上昇気流となり、その湿った空気がそのまま瀬戸内側に流れ込むため。 |
|--|---|---|--|

問3 火山の防災計画において、地形図の等高線から溶岩流が通過しやすい場所を予測する方法として正しいものはどれですか。

(2018年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 等高線の間隔が最も広がっており、周囲の土地より高くなっている平坦な尾根状の場所を特定する。 | 2. 等高線が密に重なり合っており、傾斜が急で周囲の土地より高くなっている絶壁の場所を特定する。 | 3. 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。 | 4. 等高線が海岸線に向かって凸状に張り出し、周囲の土地より高くなっている場所を特定する。 |
|--|--|--|---|

問4 日本の伝統的な文化において、十一月に行われる年中行事のうち、三歳、五歳、七歳の節目を迎えた子供の成長を祝い、これまでの無事な成長に感謝するために行われる行事として正しい名称を選びなさい。

(2017年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|----------|---------|
| 1. 灌仏会 | 2. 七五三 | 3. 端午の節句 | 4. ひな祭り |
|--------|--------|----------|---------|

問5 日本の冬の気候に大きな影響を与える北西の季節風（モンスーン）の仕組みと、日本海側の特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。

(2021年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、日本海側に冷害をもたらし、冬の降水量を極端に少なくさせる。 | 2. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかることで日本海側に雪をもたらす。 | 3. 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、山脈を越えて太平洋側に達することで、日本海側に乾燥した晴天をもたらす。 | 4. 小笠原高気圧から吹き出す湿った風が、日本海を渡る際に水分を失い、日本海側の降水量を減少させる。 |
|---|---|---|--|

問6 日本列島の地質構造に関する説明として、フォッサマグナの特徴を正しく述べたものはどれですか。

(2017年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。 | 2. 関東地方から九州地方までを内帯と外帯に分ける、日本最大級の断層のことである。 | 3. プレートの沈み込みによって形成された、列島に沿って分布する細長い海溝のことである。 | 4. 火山活動によって噴出した溶岩が積み重なってきた、標高の高い山脈地帯のことである |
|--|---|--|--|

問7 天井川の形成プロセスとその背景にある要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2017年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 上流から運ばれた土砂による川底の堆積と、人間による堤防の積み増しが繰り返された。 | 2. 河口付近で波の作用により砂が溜まり、川の流れがせき止められて水位が上昇した。 | 3. 河川の浸食作用が強まったことで周囲の土地が削られ、相対的に川の位置が高くなった。 | 4. 大規模な地殻変動によって、河川が流れている範囲の地盤だけが局地的に隆起した。 |
|---|---|---|---|

問8 富士山の噴火を想定した資料において、溶岩流が火口から流下し、各地に到達するまでの時間が「3時間以内」「3時間から24時間」「24時間から7日間」のように時間ごとに区分して示されています。また、この資料には主要な道路網や県庁、災害対策拠点の候補地も併せて記載されています。このような情報を活用した防災対策のあり方として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 溶岩流の到達範囲は季節や天候によって大幅に変動するため、気象予報を確認してから避難場所を決定するように住民に周知する。 | 2. 溶岩流によって主要道路が寸断される可能性を考慮し、到達予測時間に基づいた段階的な避難計画や、代替となる輸送ルートを検討する。 | 3. 溶岩流の到達予測時間に余裕がある「24時間から7日間」の地域では、噴火が発生しても避難の必要はないと判断する。 | 4. 溶岩流の到達が3時間以内と予想される地域を、物資の備蓄や救助の司令塔となる対策拠点として優先的に整備する。 |
|--|---|--|--|

問9 日本アルプスの東側に位置するフォッサマグナが、日本の地形においてどのような役割を果たしているか、その性質と名称の由来に基づいた説明として正しいものを選びなさい。

(2026年 北海道公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. プレートの沈み込みによって形成された世界で最も深い海溝の一部であり、名称はドイツ語の「深い谷」に由来する。 | 2. 火山灰が堆積してできた水はけの良い広大な平野部を指し、名称はポルトガル語の「白い砂」に由来する。 | 3. 太平洋側と日本海側の気候を分ける中央分水嶺としての役割を持ち、名称は英語の「巨大な山」に由来する。 | 4. 日本列島を東日本と西日本に分ける地質学的な境界であり、名称はラテン語の「大きな陥没した場所」に由来する。 |
|--|---|--|---|

問10 都市の中心部の気温が周辺部に比べて高くなる「ヒートアイランド現象」が発生する主な原因として、最も適切な説明を選びなさい。

熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 二酸化炭素などの温室効果ガスが都市部の上空に滞留し、太陽からの熱が宇宙へ逃げにくくなることで地球全体の平均気温が上昇するため。 | 2. 地表の多くがアスファルトやコンクリートで覆われて熱が蓄積されやすくなり、さらに建物からの排熱やビルの密集による風通しの悪化が重なるため。 | 3. 工場や自動車から排出された窒素酸化物が雨に溶け込み、強い酸性を示す雨が降ることで都市部の地表温度に影響を与えるため。 | 4. 都市部における人口の集中により、大規模な森林伐採が行われたことで光合成が減少し、大気中の酸素濃度が低下して熱がこもりやすくなるため。 |
|--|---|---|---|

問11 日本付近を通過する「台風」が各地の降水量に与える影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 台風が通過した後は、シベリア高気圧の勢力が強まるため、全国的に気温が急激に低下する。 | 2. 台風の接近や通過によって、日本の南部や太平洋側の地域では秋口に降水量がピークに達することがある。 | 3. 台風による雨は、初夏の6月から7月にかけて長期間にわたって降り続く「梅雨」の主成分である。 | 4. 台風は主に冬に発生し、日本海側の地域に大量の降雪をもたらす原因となる。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高度経済成長期における都市部への急激な人口集中と住宅不足	日本では1950年代半ばから1970年代前半の高度経済成長期に、地方から都市部へと急激に人口が移動しました。これに伴う深刻な住宅不足を解消するため、都市郊外の丘陵地や山地を大規模に削り取り、平坦な土地を作り出す「造成」が行われました。地形図上では、かつての複雑な地形（密集した等高線）が、人工的に平らで整然とした街並みへと劇的に変化していることが確認できます。
問2	答え 2 夏と冬の季節風が運ぶ湿った空気が、それぞれ四国山地と中国山地によって遮られ、乾燥した空気が流れ込むため。	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地域は北側に中国山地、南側に四国山地が位置しています。夏は太平洋からの湿った風が四国山地に、冬は日本海からの湿った風が中国山地に突き当たり、それぞれの山体の風上で雨や雪を降らせます。その結果、山を越えて瀬戸内側に吹き下ろす風は水分を失って乾燥するため、年間降水量が少なく晴天が多くなります。
問3	答え 3 等高線が山頂側に向かってV字状に曲がり、周囲の土地より低くなっている谷状の場所を特定する。	溶岩流の被害予測（ハザードマップ）を作成する際、地形の判読は不可欠です。等高線が標高の高い方へと曲がっている箇所は、周囲よりも土地が低い「谷」であることを示しています。溶岩流は地形の低い部分に集まりながら流下する特性があるため、こうした場所が危険な流路になると判断されます。逆に、等高線が低い方へ張り出している「尾根」は周囲より高いため、溶岩流は避けて流れる傾向があります。
問4	答え 2 七五三	日本では古来、医療が未発達であった時代に子供が健康に育つことは非常に困難であったため、特定の年齢を節目としてその成長を祝う習慣が定着しました。十一月十五日前後に行われるこの行事は、地域の神社などに参拝し、子供の健やかな将来を祈願する代表的な年中行事の一つです。
問5	答え 2 大陸から吹き出す冷たく乾いた風が、日本海を渡る際に暖流の影響で水蒸気を蓄え、山脈にぶつかることで日本海側に雪をもたらす。	冬になると、ユーラシア大陸にあるシベリア高気圧から冷たく乾燥した北西の季節風が吹き出します。この風が日本海を渡る際、暖流である対馬海流の影響で大量の水蒸気を取り込み、湿った空気に変化します。これが日本の脊梁山脈にぶつかって上昇気流が発生することで、日本海側に雪や雨を降らせます。山を越えた後の風は乾燥するため、太平洋側では晴天が多くなります。
問6	答え 1 糸魚川・静岡構造線を西端とする、日本列島を地質的に南北（東西）に分断する巨大な凹地である。	フォッサマグナは単なる「線」ではなく、古い地層の上に新しい地層が厚く堆積している「地質的な溝（領域）」を指します。この領域の西側の境界線が糸魚川・静岡構造線です。選択肢にある「内帯と外帯に分ける断層」は中央構造線の説明であり、これと混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 上流から運ばれた土砂による川底の堆積と、人間による堤防の積み増しが繰り返された。	天井川は、自然現象としての土砂堆積と、それに対応する人間の防災活動（堤防の強化）が組み合わさってできた地形です。土砂の供給が多い急峻な地形や、古くから人々が定住し、氾濫を抑える必要があった地域で多く形成されました。
問8	答え 2 溶岩流によって主要道路が寸断される可能性を考慮し、到達予測時間に基づいた段階的な避難計画や、代替となる輸送ルートを検討する。	溶岩流の到達予測時間を示す目的は、被害の緊急度に応じて優先的な避難が必要な地域を特定したり、インフラが寸断される時期を予測したりすることにあります。主要道路がいつ頃使用不能になるかを把握することで、安全な避難ルートの確保や、広域的な物資輸送の計画を事前に立てることが可能になります。なお、対策拠点は溶岩流が到達しない安全な場所に設置する必要があり、到達が数日後であっても避難が必要なことに変わりはありません。
問9	答え 4 日本列島を東日本と西日本に分ける地質学的な境界であり、名称はラテン語の「大きな陥没した場所」に由来する。	フォッサマグナは地殻に生じた巨大な溝であり、本州を南北に横断するように存在しています。この地帯は単なる地形の起伏ではなく、日本列島の形成過程に関わる重要な地質的境界です。シラス台地が火山灰（白い砂）に由来するのに対し、フォッサマグナはラテン語でその構造的特徴を表現したものです。
問10	答え 2 地表の多くがアスファルトやコンクリートで覆われて熱が蓄積されやすくなり、さらに建物からの排熱やビルの密集による風通しの悪化が重なるため。	ヒートアイランド現象は、都市特有の地表の状態や人工的な活動が原因で起こります。アスファルトによる蓄熱、エアコンや自動車からの排熱、そして高層ビルが風を遮ることによる冷却効果の低下が組み合わさり、都心部の気温が島状に高くなります。二酸化炭素によるものは地球温暖化、酸性の雨によるものは酸性雨であり、これらとは区別が必要です。
問11	答え 2 台風の接近や通過によって、日本の南部や太平洋側の地域では秋口に降水量がピークに達することがある。	台風は熱帯低気圧が発達したもので、強風とともに激しい雨を伴います。特に沖縄や九州南部、四国などの太平洋側では、台風の通り道になりやすい8月から9月にかけて降水量が非常に多くなるという特徴があります。6月から7月の降水は主に梅雨前線によるものであり、冬の降雪はシベリア高気圧から吹き出す季節風が原因であるため、台風の性質とは異なります。

- 問1 地震発生時に液状化現象が起こりやすい地域の土地条件と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 島根県公立入試 類似)
1. 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。 2. 硬い岩盤で構成された台地において、地震のエネルギーが一点に集中して地面が割れる。 3. 大規模な森林伐採が行われた場所で、土壌の保水力が失われて地面が流動化する。 4. 山間部の急傾斜地において、激しい揺れによって表面の土砂が一度に崩れ落ちる。
- 問2 各自治体が作成・配布している、自然災害が発生した際に被害が想定される区域や、避難場所・避難経路などの情報を地図上にまとめた資料を何といいますか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
1. ハザードマップ (防災マップ) 2. 等高線図 3. 地形図 4. 路線図
- 問3 日本列島の自然環境に関する説明として、新潟県から静岡県にかけて広がり、東日本と西日本の地質的な境目となっている巨大な溝 (大地溝帯) の名称を答えなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. フォッサマグナ 2. シベリア気団 3. 環太平洋造山帯 4. 中央構造線
- 問4 令和2年に発行された地形図上で、地点Bと地点Cの間の経路を確認したところ、地点Bの標高は50m、地点Cの標高は160mであることが読み取れました。この2地点間の移動に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 千葉県公立入試 類似)
1. 地点Bから地点Cに向かう場合、標高差が110mあるため、移動は上り坂となる。 2. 地点Bから地点Cに向かう場合、等高線の数値が大きくなるため、移動は下り坂となる。 3. 地点Cから地点Bに向かう場合、標高差が100m未満であるため、地形はほぼ平坦である。 4. 地点間の距離が等高線の間隔より短ければ、数値が異なっても標高差は発生しない。
- 問5 日本の太平洋側の気候において、冬に晴天の日が多くなり乾燥した風が吹く仕組みについて、地形と季節風の関係から説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
1. 日本海を流れる暖流によって温暖された空気が、山脈を越えられずに太平洋側に停滞するため 2. シベリア高気圧から吹き出す風が、太平洋上で発生する低気圧を日本海側へと押し戻すため 3. 南東からの季節風が太平洋で発生した上昇気流を伴い、山脈を越えて冷え込むため 4. 北西からの季節風が日本海側で雪を降らせた後、水分を失って山脈を越えてくるため
- 問6 震災からの復興過程における土地利用の変化を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。なお、ある地域の統計資料では、海岸付近にあった駅が内陸側へ移動して整備され、鉄道が開通したことや、背後の丘陵地に多くの建物が新設されている状況が示されているものとします。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 将来の津波被害を軽減し、住民の安全を確保するために居住地を高台へ移動させた。 2. 食料自給率を向上させるため、被災した居住地跡をすべて大規模な水田に造成した。 3. 通学の利便性を最優先し、すべての学校を駅から最も離れた東側の海岸付近に移転させた。 4. 公共交通機関を廃止し、自家用車利用を前提とした広大な道路網を丘陵地に整備した。
- 問7 瀬戸内海沿岸の地域で見られる「瀬戸内の気候」において、年間を通じて降水量が少なく、安定した少雨傾向となる主な地形的な理由として正しいものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 大規模な平野部が広がっており、雲を発達させる上昇気流が発生しにくい地形であるため 2. ユーラシア大陸からの乾燥した空気が、季節を問わず直接流れ込みやすい位置にあるため 3. 年間を通じて寒流の影響を強く受け、海面からの水蒸気の供給が制限されているため 4. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、季節風による湿った空気がさえぎられるため
- 問8 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。例えば1993年の仙台市では、7月の平均気温が平年を大きく下回る20度未満となり、これに連動して水稻 (米) の収穫量が極端に落ち込みました。このような、夏の低温や日照不足によって農作物の生育が阻害される気象災害を何といいますか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 風水害 2. 塩害 3. 干害 4. 冷害
- 問9 日本の気候区分のうち、冬に北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかることで多くの雪を降らせるため、12月から2月にかけての降水量が他の月と比べて著しく多くなる特徴を持つものを何と呼びますか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 中央高地の気候 2. 太平洋側の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 日本海側の気候
- 問10 河川の下流に位置し、標高が50m以下で複数の川に挟まれた低湿地において、水害対策としてとられた「輪中」の構造と仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 集落や田畑の周囲を隙間なく堤防で囲み、外部からの浸水を防ぐ構造。 2. 海岸沿いに巨大な防潮堤を建設し、地震による津波を遮断する構造。 3. 森林を大規模に伐採して平地を造成し、雨水を素早く海へ流す仕組み。 4. 上流の森林に多数の砂防ダムを設置し、土砂の流出を抑える仕組み。
- 問11 日本の河川の特徴と、人々の暮らしとの関わりについて述べた文として、地形的な背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 流域面積が非常に広いため、季節による流量の変化が小さく、ダムなどに頼らずとも年間を通じて安定した水利用が可能である。 2. 山地が海岸近くまで迫っている地形の影響で河川の勾配が急であり、雨水が短時間で流出するため、水資源の有効活用のためにダムが必要となる。 3. 国土が全体的に平坦で河川の勾配が緩やかなため、外洋から大型船が内陸まで航行できる利点を活かし、ダムを造らず水運を重視している。 4. 全国的に降水量が極端に少ないため、河川水よりも各地に点在するため池を主な水源として、大規模な都市の生活用水をすべてまかなっている。
- 問12 地形図に描かれた河川の流向を判断する根拠について述べた文として、正しいものはどれですか。北西部に標高の高い山地 (40m～50m) があり、南東部に低地があるケースを想定して答えなさい。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
1. 方位を確認し、緯度の高い南東側から緯度の低い北西側へ流れると判断する 2. 等高線の数値を確認し、標高の高い北西側から低い南東側へ流れると判断する 3. 地図記号を確認し、建物が密集する南東側から山地のある北西側へ流れると判断する 4. 等高線の間隔を確認し、傾斜が急な南東側から平坦な北西側へ流れると判断する

答え合わせ・解説

問1	答え 1 水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。	液状化は、特に沿岸部の埋め立て地やかつての河川敷など、水と砂が多い場所で発生しやすいのが特徴です。地震の衝撃で砂の粒子の隙間にあった水が押し出され、地面全体が液体のような挙動を示すようになります。これにより、本来は強固だったはずの地盤が支える力を失い、建物の倒壊やライフラインの寸断を引き起こします。
問2	答え 1 ハザードマップ（防災マップ）	自治体が作成するこの地図は、過去の災害データや科学的な予測に基づき、洪水や土砂災害などの危険性が高い場所を示しています。住民が事前に危険箇所を確認し、迅速かつ安全に避難所へ移動できるようにすることを目的としています。
問3	答え 1 フォッサマグナ	日本列島が形成される過程で生じた巨大な溝は、ラテン語で「大きな溝」を意味する名称と呼ばれています。新潟県糸川市から静岡県静岡市付近を結ぶラインは、この地帯の西側の縁にあたり、日本の地質を東側と西側に大きく分ける重要な境界線となっています。
問4	答え 1 地点Bから地点Cに向かう場合、標高差が110mあるため、移動は上り坂となる。	地点B（50m）と地点C（160m）の標高を比較すると、地点Cの方が高いため、BからCへの移動は上り坂になります。また、その標高差は数値の差である「160m - 50m = 110m」として算出されます。100mを超える標高差がある場合、地形図上でも複数の等高線をまたぐこととなります。
問5	答え 4 北西からの季節風が日本海側で雪を降らせた後、水分を失って山脈を越えてくるため	冬になるとシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風は日本海を渡る際に水分を蓄えますが、日本列島の中央にある山脈にぶつかり、日本海側に雪や雨を降らせます。その後、水分を失って乾燥した空気が山脈を越えて太平洋側に吹き降りるため、太平洋側では冬に乾燥した晴天が続くこととなります。
問6	答え 1 将来の津波被害を軽減し、住民の安全を確保するために居住地を高台へ移動させた。	震災後の復興計画では、過去の被害を教訓に、浸水リスクの高い低地から安全な高台へと居住機能を移転させることが重要視されます。女川駅などの駅舎が内陸に移設されたのも、津波による被害を最小限に抑えつつ、公共交通機関を中心とした機能的なまちづくりを進めるための合理的な土地利用の変化です。
問7	答え 4 北側の中国山地と南側の四国山地によって、季節風による湿った空気がさえぎられるため	瀬戸内海沿岸は、夏は南東からの湿った季節風が四国山地によって、冬は北西からの湿った季節風が中国山地によってそれぞれさえぎられる場所に位置しています。このため、雲が発達しにくく、年間を通じて温暖で降水量が少ないという特徴を持ちます。この気候の影響で、香川県などでは古くから農業用水を確保するための「ため池」が多く作られてきました。
問8	答え 4 冷害	夏にオホーツク海高気圧が勢力を強めると、冷涼な北東の風である「やませ」が東北地方の太平洋側に吹き込みます。これにより、夏の気温が上がらない「夏の低温」や日照不足が引き起こされ、稲などの農作物が十分に育たなくなる冷害が発生します。1993年の記録的な大減収は、中学地理においても重要な事例として扱われます。
問9	答え 4 日本海側の気候	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この風が暖流（対馬海流）の流れる日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、日本の背骨にあたる奥羽山脈や越後山脈などにぶつかって上昇気流となることで、日本海側に大雪をもたらします。そのため、冬の降水量が他の季節に比べて非常に多くなるのが最大の特徴です。
問10	答え 1 集落や田畑の周囲を隙間なく堤防で囲み、外部からの浸水を防ぐ構造。	輪中は、単に川沿いに堤防を築くのではなく、居住エリアや耕作エリアの「周囲すべて」を堤防で囲んでいるのが最大の特徴です。これにより、複数の河川のうちどこかが決壊したり溢れたりしても、囲いの中への浸水を防ぐことができます。また、輪中の内部では、さらに一段高く盛土をした場所に避難用の家屋（水塚）を建てるなど、重層的な水害対策が行われてきました。
問11	答え 2 山地が海岸近くまで迫っている地形の影響で河川の勾配が急であり、雨水が短時間で流出するため、水資源の有効活用のためにダムが必要となる。	日本の河川は、中央の山岳地帯から狭い平野を経て海に注ぐため、世界的に見ても非常に「急流」です。この地形的条件では、大雨が降ればすぐに洪水が発生しやすく、逆に雨が降らなければすぐに水不足に陥るという不安定さがあります。そこで、限られた「水資源」を有効に使い、発電や用水供給、流量調節を行うために、多くの河川で「ダム」が建設されてきました。選択肢にある「ため池」は主に灌漑（農業）用として古くから作られたもので、河川全体の流量調節とは役割が異なります。
問12	答え 2 等高線の数値を確認し、標高の高い北西側から低い南東側へ流れると判断する	河川は重力に従って標高の高い地点から低い地点へと流れます。地形図上では等高線の数値や分布、あるいは広葉樹・針葉樹などの山地を示す記号と、市街地・田などの平地を示す記号の配置から高低差を読み取ります。北西側に40mを超える計曲線があり、南東側に低地があるという情報から、北西（高）から南東（低）という流向が導き出されます。

- 問1 日本の山地や地質の構造に関する説明のうち、フォッサマグナの特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
1. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈の3つの山脈の総称であり、日本アルプスと呼ばれている。
 2. 九州から関東地方にかけて日本列島を東西に貫く、世界最大級の断層である。
 3. 太平洋のプレートが陸のプレートの下に沈み込むことで形成された、水深6,000メートルを超える深い溝のことである。
 4. 日本列島を東日本と西日本に分ける大きな溝状の地帯であり、その西縁は糸魚川・静岡構造線と呼ばれている。
- 問2 扇状地の斜面において、地図記号で果樹園が多く記されている地域が一般的である背景について、地形の成り立ちと関連付けて説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 河口付近で流れが止まった際に細かい土砂が堆積し、栄養豊富な湿地帯が形成されたため
 2. 川が運んできた土砂のうち、粒の大きい砂や礫が山地からの出口付近に堆積し、地表に水が残りにくい性質を持つため
 3. 等高線の間隔が非常に狭い急斜面であり、階段状の耕作地を作ることが物理的に困難であるため
 4. 火山灰が降り積もった平坦な土地であり、水はけは良いが稲作に必要な養分が不足しているため
- 問3 山間部を流れる河川において、土石流による被害を軽減するために設置される「砂防堰堤（さぼうえんてい）」の役割として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 河口付近で海水の逆流を防ぎ、塩害による農作物の被害を防止する。
 2. 地震の揺れによって地下水と砂が噴き出す現象を抑え、地盤が軟弱になるのを防ぐ。
 3. 火山の噴火時に発生する高温のガスや火山灰が、高速で斜面を流れ下るのを完全に遮断する。
 4. 上流から流れてくる土砂を一時的にためたり、流れの勢いを弱めたりして下流の住宅地を守る。
- 問4 6月や9月の降水量が突出して多く、年間の総降水量も非常に多い特徴を持つ、和歌山県南部に位置する地点の気候区分として正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 日本海側の気候
 2. 中央高地の気候
 3. 太平洋側の気候
 4. 瀬戸内の気候
- 問5 日本国内の異なる地点の気候データを比較したとき、内陸部に位置する松本市の統計に該当する特徴はどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)
1. 1年間の総降水量が2500ミリを超え、月平均気温が一年を通じて10度を下回ることがない。
 2. 月平均気温が最も低い時期で約0度、最も高い時期で約25度となり、各月の降水量が概ね150ミリ以下で推移している。
 3. 冬の1月や2月の降水量が300ミリを超えて非常に多く、夏の降水量を上回っている。
 4. 月平均気温の変動が小さく、各月の降水量が年間を通じて200ミリ前後でほぼ一定である。
- 問6 河川が山間部から平地に出る際、流れがゆるやかになることで土砂が堆積し、形成された扇形の地形を何といいますか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 三角州
 2. 台地
 3. 扇状地
 4. 砂丘
- 問7 東北地方の三陸海岸沿いには、過去の災害の記憶を伝える「自然災害伝承碑」を記した地図上の地点が密集しています。このように、海底で発生した大規模な地震などによって引き起こされ、沿岸部に甚大な被害をもたらす巨大な波を何といいますか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 津波
 2. 火山の噴火
 3. 干ばつ
 4. 土石流
- 問8 大規模なスポーツ施設や公園の地下に設置される、洪水対策を目的とした施設について、その設置が必要とされる背景と仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 広島県公立入試 類似)
1. 地表の多くが舗装されたことで雨水が地中に浸透しにくくなり、短時間で大量の雨水が流出して洪水を引き起こす恐れがあるため、一時的に水を貯める必要がある。
 2. 都市部では人口が密集し水源となる河川が不足しているため、降った雨を飲料水や生活用水として再利用するために、地下に大規模な貯水槽を設けている。
 3. ヒートアイランド現象によって都市部の降水量が増加傾向にあるため、地下に冷たい雨水を蓄えて地表の温度を上昇させないように工夫している。
 4. 地震などの災害時に発生する火災に備え、消火活動に必要な水を確保すると同時に、地盤沈下を防ぐために地下水を補充する役割を担っている。
- 問9 ハザードマップの作成目的や特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 観光客が避難場所を把握することだけを目的としており、居住者の利用や土地の成り立ちに関する情報は含まれない。
 2. 都道府県や国などの広域な情報を一枚にまとめるため、主に五万分の一の地形図がそのままの形式で配布される。
 3. 過去の災害の回数を集計することではなく、地形条件などから予測される被害の範囲を示すことで、事前の備えを促すものである。
 4. 過去に発生したすべての災害地点を記録したものであり、将来の被害を予測する機能は持っていない。
- 問10 九州地方の熊本県に位置し、火山の噴火によって形成された世界最大級の面積を持つ広大な窪地（カルデラ）を持つ活火山の名称として正しいものはどれか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 霧島山
 2. 箱根山
 3. 有珠山
 4. 阿蘇山
- 問11 日本の気候には、季節によって決まった方向から吹く季節風が大きく影響しています。日本の夏の気候について、その風の吹き方と特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 小笠原諸島付近から南東に向かって吹く冷たく湿った風の影響で、東北地方の太平洋側で「やませ」と呼ばれる冷害が発生する。
 2. 中国大陸方面から東に向かって吹く乾燥した風の影響で、春先に日本全域で黄砂が観測される。
 3. 太平洋側から北西に向かって吹く暖かく湿った風の影響で、太平洋側で降水量が多くなり、蒸し暑い日が続く。
 4. シベリア方面から南東に向かって吹く冷たく乾いた風の影響で、日本海側で雪が多くなり、太平洋側では乾燥した晴天が続く。
- 問12 ある自治体では、大雨による河川の氾濫に備えて避難行動の計画を立てるよう住民に呼びかけています。このとき活用されるハザードマップの利用方法として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 道路の渋滞状況をリアルタイムで確認し、最も移動時間が短い交通手段を選択する。
 2. 自宅周辺の浸水想定区域や近くの避難場所を確認し、適切な避難経路を事前に調べておく。
 3. 地域の地価や家賃の相場を比較し、住み替えに適した安全な場所を調べる。
 4. 商業施設や公共施設の営業時間を一覧で確認し、災害時の物資の購入場所を決めておく。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日本列島を東日本と西日本に分ける大きな溝状の地帯であり、その西縁は糸魚川・静岡構造線と呼ばれている。	フォッサマグナは、単なる一本の線ではなく「帯（ゾーン）」としての広がりを持っており、その中に新しい地層が堆積しています。この地帯を境に、東日本と西日本では古い地層の分布や地質構造が大きく異なります。選択肢にある「九州から関東を東西に貫く断層」は中央構造線、「太平洋の深い溝」は日本海溝、および「3つの山脈の総称」は日本アルプスを指しており、それぞれフォッサマグナとは異なる地理的要素です。
問2	答え 2 川が運んできた土砂のうち、粒の大きい砂や礫が山地からの出口付近に堆積し、地表に水が残りにくい性質を持つため	扇状地は、川が山地から平地へ抜ける「谷口」を頂点として土砂が積み重なってできた地形です。上流から運ばれてきた砂や石（礫）が堆積して層を作っているため、雨水などがすぐに地下へ染み込んでしまう（水はけが非常に良い）という特徴があります。このため、地表の水分を一定に保つ必要がある稲作には適さず、古くからブドウや桃などの果樹園として利用されてきました。選択肢にある「河口付近の細かい土砂」は三角州の特徴であり、扇状地とは形成場所や土壌の性質が異なります。
問3	答え 4 上流から流れてくる土砂を一時的にためたり、流れの勢いを弱めたりして下流の住宅地を守る。	砂防堰堤は、土石流の危険がある溪流などに設置される防災施設です。流れてきた土砂や岩石を堰堤の背後に堆積させることで、下流へ流れ出る土砂の量を調節し、破壊力を抑える仕組みを持っています。地形図などの地図記号でも、河川を横断するような形でその設置場所が示されることがあります。
問4	答え 3 太平洋側の気候	夏に降水量が多く、冬に乾燥して晴天が続くのが太平洋側の気候の典型的な特徴です。特に紀伊半島南部や四国高知県などは、黒潮の影響や地形的な要因により、太平洋側の気候の中でも特に降水量が極めて多い地域として知られています。これに対し、瀬戸内の気候は年間を通して降水量が少ないのが特徴です。
問5	答え 2 月平均気温が最も低い時期で約0度、最も高い時期で約25度となり、各月の降水量が概ね150ミリ以下で推移している。	内陸に位置する中央高地の雨温図では、夏と冬の気温差がはっきりと現れ、冬の冷え込みが厳しい一方で夏は高温になります。降水量については、季節風が山を越える際に水分を失うため、日本海側や太平洋側と比較して、すべての月において降水量が少なく抑えられるという特徴があります。
問6	答え 3 扇状地	山地を流れる急峻な河川が平地に達すると、流速が落ちて運搬能力が弱まるため、抱えていた土砂を出口付近に堆積させます。これが積み重なって扇のような形になった地形を指します。河口付近にできる三角州と混同されやすいですが、形成される場所に違いがあります。
問7	答え 1 津波	海底で大規模な地震が発生すると、海底面が急激に隆起または沈降し、それによって押し上げられた海水が巨大な波となって周囲に広がります。リアス海岸が続く三陸海岸では、湾の奥に向かうにつれて波が高くなる性質があるため、古くから甚大な被害を繰り返してきました。そのため、後世に教訓を伝えるための伝承碑が多く建立されています。
問8	答え 1 地表の多くが舗装されたことで雨水が地中に浸透しにくくなり、短時間で大量の雨水が流出して洪水を引き起こす恐れがあるため、一時的に水を貯める必要がある。	都市部では建物や道路によって地面が覆われているため、雨水が自然に地下へしみ込むことができません。そのため、激しい雨が降ると排水が追いつかず「都市型洪水」が発生しやすくなります。この対策として、地下の広大な空間を利用して雨水を一時的に貯留し、天候が回復した後に少しずつ放流することで、河川や下水道への負担を軽減する仕組みがとられています。
問9	答え 3 過去の災害の回数を集計することではなく、地形条件などから予測される被害の範囲を示すことで、事前の備えを促すものである。	ハザードマップの重要な役割は、過去の履歴を確認するだけでなく、地形や地質、標高などのデータに基づき、将来起こりうる「予測される被害の範囲」を可視化することにあります。これにより、住民は自分の住む場所のリスクを認識し、適切な避難行動を計画することが可能になります。
問10	答え 4 阿蘇山	熊本県に位置する阿蘇山は、日本を代表する活火山であり、その最大の特徴は世界最大級の規模を誇る「カルデラ」です。カルデラとは、火山活動によって地表が陥没してできた大きな窪地のことで、阿蘇山のカルデラ内には多くの人々が居住し、農地や鉄道も整備されているという世界的に珍しい特徴を持っています。
問11	答え 3 太平洋側から北西に向かって吹く暖かく湿った風の影響で、太平洋側で降水量が多くなり、蒸し暑い日が続く。	日本の夏は、太平洋上に発達する高気圧（小笠原高気圧）から吹き出す季節風の影響を強く受けます。この風は太平洋側から日本列島（北西方向）へと吹き、広大な海の上を通る際、暖かく湿った空気を大量に蓄えます。そのため、日本列島の山脈にぶつかる太平洋側で雨が多くなり、全国的に高温多湿な気候をもたらします。一方、シベリア方面から南東に吹くのは冬の季節風であり、季節によって風向きが大きく変化するのが特徴です。
問12	答え 2 自宅周辺の浸水想定区域や近くの避難場所を確認し、適切な避難経路を事前に調べておく。	ハザードマップを利用することで、自分の住んでいる地域が浸水などの危険に晒される可能性があるか、どこに避難すればよいかを事前に確認することができます。日頃から危険区域を認識し、安全な避難行動につなげることが重要です。